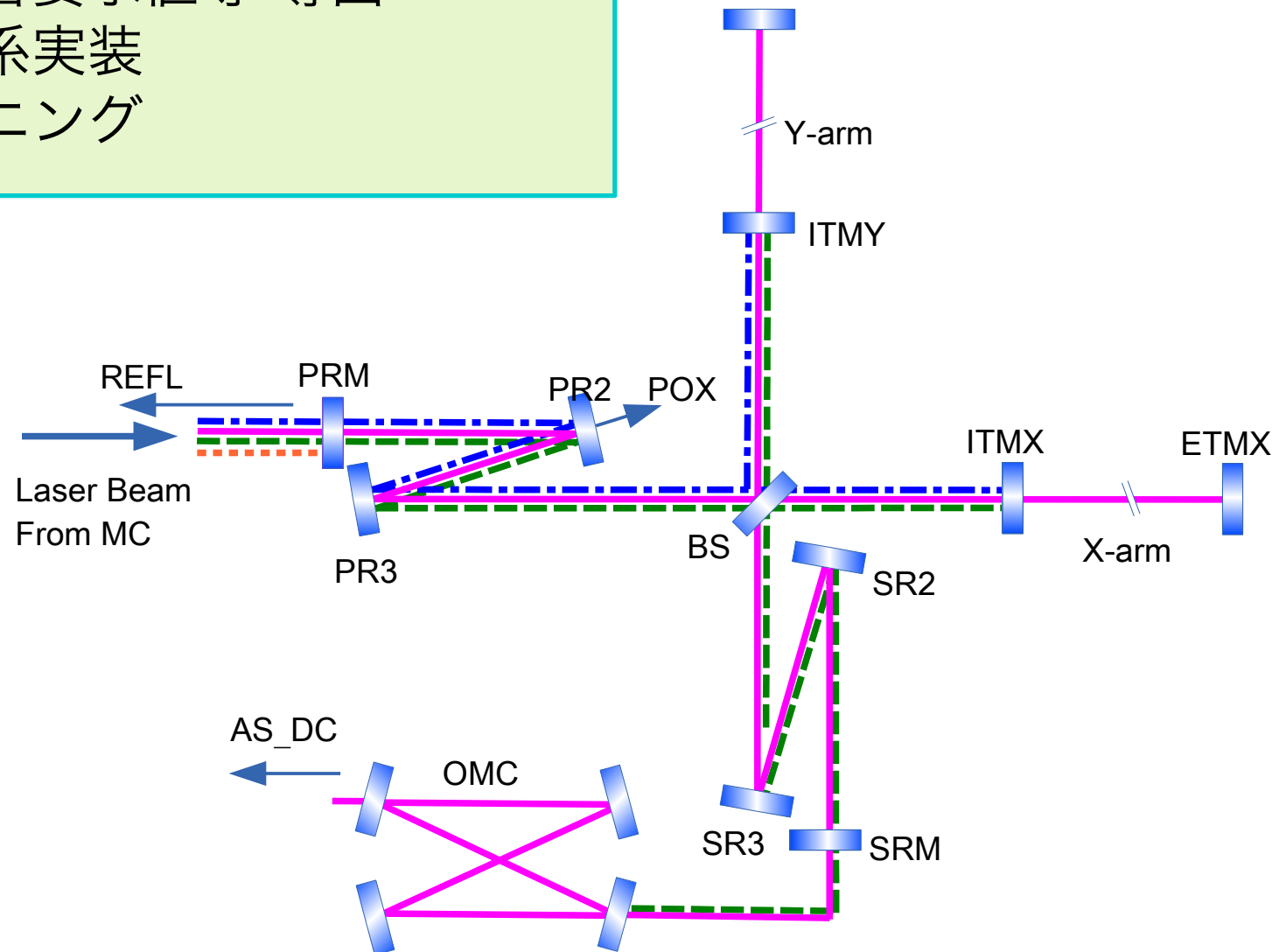


主干涉計サブシステムの準備

麻生洋一
拡大チーフ会議
2016/5/18

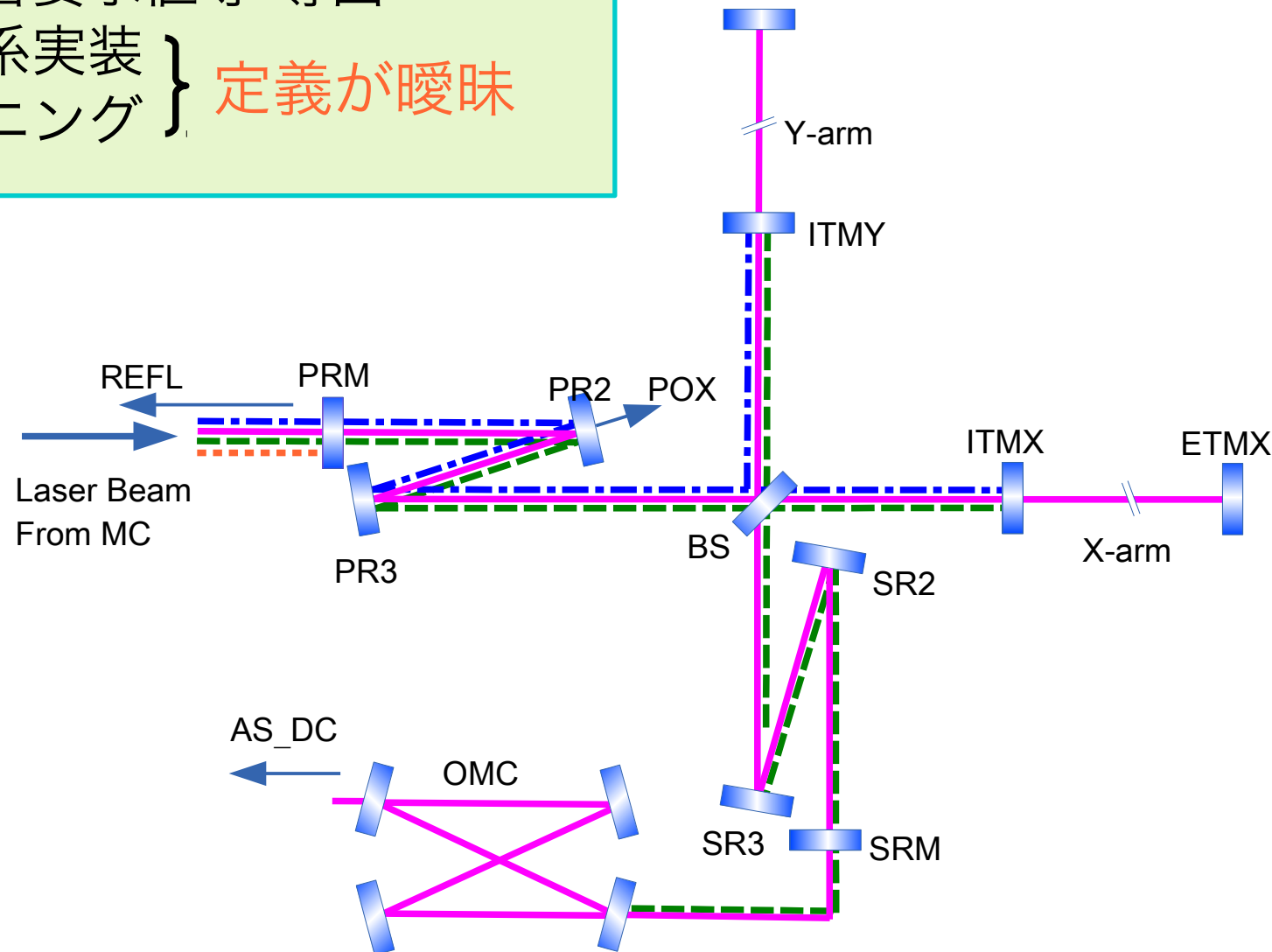
MIFのタスク

- 干渉計光学設計
- 干渉計制御信号取得方法設計
- 鏡仕様, 雑音要求値等 導出
- 干渉計制御系実装
- コミッショニング



MIFのタスク

- 干渉計光学設計
 - 干渉計制御信号取得方法設計
 - 鏡仕様, 雑音要求値等 導出
 - 干渉計制御系実装
 - コミッショニング
- } 定義が曖昧



タイムライン

2009年5月: MIFサブシステム立ち上げ (チーフ: 麻生, サブチーフ: 佐藤)
2009/5/14 最初のMIF会議

2011年3月: 外部レビュー1

- LSCスキームは現在のものになった
- デザインドキュメント作成 (JGW-T1200913)

2012年1月: 内部レビュー

- 光学パラメータはかなり最終版に近づいた

2012年4月: 外部レビュー2

2012年5月: GWADW in Hawaii

- 鏡研磨費用を抑えるために, 腕共振器曲率を変更

2012年7月3日: MIF会議

- 干渉計パラメーター決定

2013年8月: 干渉計設計をまとめた論文出版

光学設計
信号取得方法

以後, 制御実装(制御モデリング,回路製作)の話に
フォーカスに移る。しかし, 活動度は低下。

iKAGRAへ向けた準備

- 干渉計制御に必要な回路類の整備
 - ケーブリングダイアグラム整備
 - AELへの製作依頼
 - ケーブル類の準備
- リアルタイムモデル準備
- IOOの一環としてのタスク
 - 光学定盤準備
 - REFL光学系構築準備

2014/11: 道村君がサブチーフになる

2015/7: 隔週ISCミーティング開始

反省点

- MIFのメンバーを確定していなかった
 - 光学設計のための計算は楽しいが、実準備のための仕事は面倒なものも多い(決してつまらないわけではないと思うが)
 - タスク割当を明確化して、各人に責任をもって貰うのが正しいやり方。
 - 何度かやろうとしたが、うまく機能しなかった
 - タスクは大きく切り分けて、個人ではなく機関にアサインするほうが良い
 - エフォート率をちゃんと出してもらおう？
- 責任範囲が明確ではなかった
 - 100との切り分け
 - ケーブルは誰が用意する？
 - コミッショニングリーダーは別にいる
- コミッショニングの計画を立てるのが遅かった
 - 初期アラインメント手順
 - コミッショニングマンパワーの手配に苦労した(メンバー確定問題とリンク)